

光と緑の風通信

発行/2022年9月30日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)

25期生を迎えて

看護学部長 坂本 祐子



看護学部開設から25年、看護基礎教育、看護を取り巻く環境は大きく変化しています。4年制大学の3校に1校が看護系学部・学科を有し、教員の確保や教育の質の担保が問われるとともに、少子高齢社会の加速、大規模自然災害の発災、新興感染症の台頭など、看護職に求められる役割が拡充していることから、それらに対応できる看護職の育成が大学の責務となっています。

このような状況に対応すべく看護学部では教育課程を見直し、看護学の基礎教育を強化するために、既に保健師教育を入学者全員履修から半数程度の学内選抜制に、助産師教育は令和5年度より学部教育より大学院・別科教育に移行します。更に科目では、災害看護、地域包括ケア・多職種連携の科目の強化を図っています。

看護を取り巻く社会情勢や療養者・住民のニーズに呼応し、“今を生きること”、“住み慣れた地で生活を全うすること”を支える看護職を目指し、看護学部で一緒に学びましょう。

(さかもと ゆうこ)

大学院看護学研究科 「博士後期課程」を開設して

大学院看護学研究科より

看護学研究科長 高橋 香子

看護学研究科は、2002年に修士課程を開設し、看護の実践・研究・教育の場で活躍できる人材を県内外に輩出してきましたが、さらなる看護実践の質向上をめざし、本年4月、博士後期課程(実践開発看護学領域)を開設しました。

既存の修士課程は博士前期課程に変更し、看護学研究科は、前期2年・後期3年の区分を有する博士課程として再スタートしたところです。博士後期課程では、複雑多様化する人々のニーズに対応するケア開発と、必要なケアを適時適切に提供できるケアシステム開発について教育・研究を行います。定員は2名で、修了時には「博士(看護学)」の学位を授与されます。エビデンスのある革新的なケアを創造する能力、包括的かつ継続的なケアシステムを開発する能力を備え、研究力・研究指導力を発揮して看護実践の変革を牽引できる看護教育・研究者、看護実践指導者を輩出し、福島の未来に貢献したいと願っています。

(たかはし こうこ)





新型コロナウイルス感染症に関して

教務委員長 和田 久美子

当学部では、新型コロナウイルス感染症について
学生の皆さんに以下のような対応を
お願いしております。

1. 感染予防対策について

不織布マスク着用、手指消毒、毎日の健康観察(体温・症状)と健康ダイアリーの入力徹底及び「3密の回避」や飲食時における少人数・短時間・黙食等の実施。



2. 登校について

体調に異変が生じたとき、身近な方に感染のおそれが発生した時は、速やかに大学に報告するとともに、登校を控えること(この場合は通常の欠席扱いとはしない)。試験期間中の場合は、追試対象者とする。

3. 部活動・サークル活動について

活動申請書を提出し許可された団体に対して活動を許可。ただし、臨床実習等授業スケジュールや感染状況との兼ね合いにより停止および制限する場合があります。

(わだ くみこ)

新たなスタートから4か月

看護学部 渡邊 萌香



入学から早4か月、目まぐるしく始まった新生活を送るなかで、『少し大人になったな』と感じながら、充実した毎日を過ごしています。周りの友人も一人暮らしへの不安や、勉強・実習などに、様々な困難を抱えながら毎日一生懸命生活しているなかで、『少

し大人になったな』と感じながら、充実した毎日を過ごしています。

周りの友人も一人暮らしへの不安

や、勉強・実習などに、様々な困難を抱えながら毎日一生懸命生活してい

ると思います。そんな困難もお互いに励まし合える友人がいることに感謝しています。同じ目標を持つ84人の仲間と切磋琢磨し合いながら目標に向かってお互い頑張り、全員で笑って卒業できるよう、この貴重な4年間の日々を大切にしていきたいです。

(わたなべ もえか)

新入生からひとまわり

博士後期課程に進学して

大学院看護学研究科博士後期課程 林 紋美



私は、本学部を卒業後、病院勤務を経て、本学部の博士前期課程を修了

し、この度、博士後期課程に入学しました。

現在、教員としても本学部に勤務しており、通学の大変さはありませんが、研究者としての自律が求めら

れる博士後期課程では、味わったことのない大変さや、仕事と学業を両立する難しさを実感しながらも、新たな看護を探求する楽しさも感じています。

まだまだ道半ばですが、福島の看護に貢献できる研究者、教育者に成長できるように精進して参りたいと思います。

(はやし あやみ)

看護学部教員紹介 ①

看護学部には約50名の教員がいます。
その教員をシリーズで紹介いたします。

第1回目は生命科学部門と総合科学部門の教員の紹介です。

【生命科学部門】

からだのしくみと働きを学び、
専門性の高い看護職育成へ橋渡しします！

1～2年生で身体の構造と機能や病気について系統的
に学んで、最後に病態診断治療学で臨床医学を学び
ます。当部門には専門看護師の資格を有する教員も



所属しております。みなさん
が入学されて最初に顔を
合わせる教員が多いので、
お会いしたときには気軽に
声をかけてください。

部門長

太田 昌一郎



興味のあること：学生さん
目線のわかりやすい授業
を行うこと

人体解剖生理学
病理学、病態診断治療学

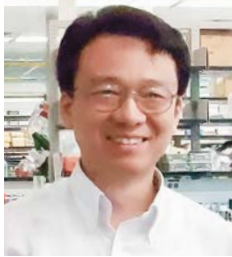
関亦 明子



興味のあること：唾液腺
細胞の分化のメカニズム、
オオクワガタの飼育

病態栄養学
生体防御学、病理学

森 努



興味のあること：情報と
生物系の関係、がんと免
疫の関わり

生化学、生体防御学
薬物治療学

小児看護専門看護師
古橋 知子



小児看護や専門看護師に興味の
ある方、いつでも声をかけてくださ
い。研究室は、森先生のお隣です。

小児看護CNSコース

がん看護専門看護師
三浦 浅子



がん看護専門看護師として看護
師の支援、福島県の特定行
為研修教育にも携わっています。

エンドオブライフケア
がん看護CNSコース

精神看護専門看護師
加藤 郁子



臨床での活動：患者さんの精
神的なつらさや、看護師が仕事
を行う中での課題へのサポート

精神看護学
精神看護CNSコース

【総合科学部門】（総合科学教育研究センター）

人間について理解を深めるための幅広い知識と技術を備え、看護実践の基礎となる論理的思考力・表現力・共感力などの能力を総合的に向上させるための教育・研究を行います。

外国語、自然科学、心理学、疫学・統計学、社会学など幅広い分野から学ぶことができます。



中山 仁

NAKAYAMA Hitoshi



英語Ⅱ、Ⅳ

後藤 あや

GOTO Aya



統計学、疫学
保健情報演習

三澤 文紀

MISAWA Fuminori



心理学

立柳 聡

TACHIYANAGI Satoshi



生活と科学、人間関係論
現代社会論

令和3年度 卒業生の国家試験の結果と進路

令和3年度 保健師・助産師・看護師国家試験の合格状況

令和4年3月25日現在

令和3年度の国家試験の合格状況は、保健師、助産師、看護師ともに、全国平均合格率を上回る結果となりました。



■ 保健師

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受験者(人)	83	83	80	79	87
合格者(人)	78	83	78	65	73
合格率(%)	94.0	98.8	97.5	82.3	83.9
全国合格率(%)	93.0	97.4	96.3	88.1	85.6

■ 助産師

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受験者(人)	5	5	6	6	7
合格者(人)	5	5	6	6	7
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国合格率(%)	99.7	99.7	99.5	99.9	99.4

■ 看護師

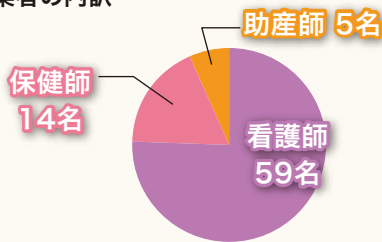
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受験者(人)	83	84	80	79	87
合格者(人)	82	83	79	78	87
合格率(%)	98.8	98.8	98.8	98.7	100.0
全国合格率(%)	96.5	95.4	94.7	94.7	96.3

令和3年度 看護学部卒業生の進路状況

令和4年3月25日現在

令和3年度の看護学部卒業生の主な就職先は、福島県内51名、福島県外27名で、就職した学生のうち65.4%が県内に就職しました。また、福島県内に就職した学生のうち35名が本学附属病院に就職しました。

■ 卒業者の内訳



■ 就職(県内)

就職先	職種	市町村	人数
福島県立医科大学附属病院	看護師	福島市	32
福島県立医科大学附属病院	看護師、助産師	福島市	3
寿泉堂総合病院	看護師	郡山市	3
総合南東北病院	看護師	郡山市	1
公益財団法人 星総合病院	看護師、助産師	郡山市	1
平心会 須賀川病院	看護師	須賀川市	1
栞記念病院	看護師	二本松市	1
公立藤田総合病院	看護師	国見町	1
福島県	保健師	福島県	3
福島市役所	保健師	福島市	2
郡山市役所	保健師	郡山市	2
いわき市役所	保健師	いわき市	1
県内就職 計			51

■ 就職(県外)

就職先	職種	都道府県	人数
青森慈恵会病院	看護師	青森県	1
医療法人友愛会 盛岡友愛病院	看護師	岩手県	1
岩手県立病院	看護師	岩手県	1
東北大学病院	看護師	宮城県	1
日本赤十字社 石巻赤十字病院	看護師	宮城県	1
ふくい整形外科	看護師	山形県	1
自治医科大学附属病院	看護師	栃木県	3
独立行政法人国立病院機構埼玉病院	看護師、助産師	埼玉県	1
新志志木中央総合病院	看護師	埼玉県	1
埼玉回生病院	看護師	埼玉県	1
国立がん研究センター東病院	看護師	千葉県	1
東京大学医学部附属病院	看護師	東京都	3
東京医科歯科大学病院	看護師	東京都	2
学校法人東京女子医科大学	看護師	東京都	1
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	看護師	東京都	1
信州大学医学部附属病院	看護師	長野県	1
十和田市	保健師	青森県	1
群馬県	保健師	群馬県	1
埼玉県	保健師	埼玉県	1
さいたま市	保健師	埼玉県	1
世田谷区	保健師	東京都	1
横浜市	保健師	神奈川県	1
県外就職 計			27

■ 進学

進学先	人数
福島県立総合衛生学院	3
新潟大学	1
進学 計	4

編集後記

広報誌「看護学部二ユー スレーヴォー・63号」をご覧いただきありがとうございます。

この度、開学当初より発行してききました「光と緑の風通信」を、リニューアルすることになりました。保護者の方向けに、いつでも気軽に閲覧いただけます。電子版にしてカラーにすることで、スマホで見やすい画面ということにこだわって作成しました。また、バックのデザインは、従来の「光と緑の風」のイメージを受け継いで作成致しました。

作成するに当たり、沢山の方々にご協力を頂いて無事に電子カラー版第一号を発行できましたことに心より感謝申し上げます。

今度も前期号、後期号として年2回の発行を予定しております。毎回工夫を凝らして盛り沢山の内容で、楽しい広報誌になりますよう、広報委員一同アイデアを出し合って作っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

副編集長 亀岡 康子

◆ 編集委員

編集長 鈴木 学爾
井上 水絵
佐々木 千佳
佐藤 利憲
蓮田 美保
亀岡 康子
高崎 千聡
関亦 明子